

写真を読み解く・check sheet 1 : 機材セッティング

レンズ	設定	効果	check memo
焦点距離	広角 ← 標準(35mmフルサイズ 換算50mm相当) → 望遠	遠近感の強調 ← 目に近いパース → 圧縮効果 ピントが深くなる ↔ ピントが浅くなる	
ピントの位置	奥 ↔ 手前	前ボケが大きくなる ↔ 後ろボケが大きくなる、 ピントが深くなりやすい ↔ ピントが浅くなりやすい	
絞りの設定	最小絞り ↔ 開放	ピントが深くボケない ↔ ピントが浅くボケが大きく	
その他 (フィルター、味など)	フィルター、特徴のあるレンズ、アオリ (ティルト・シフトレンズなど)のセレクト	フィルター・特徴のあるレンズで描写を変える、 アオリでピント、形のコントロール	
機材	セレクト	効果	check memo
機種	フィルムカメラ or デジタルカメラ	フィルムは8×10までであるためメディアサイズが大きい	
センサーサイズ	小さい → APS-C → 35mmフルサイズ以上	→ 階調が豊富、ボケ味が大きい、高画質	
カメラ設定	設定	効果	check memo
シャッタースピード	遅い ↔ 速い	ブレやすい(ブレの利用) ↔ 被写体の瞬間を止める	
ホワイトバランス	タングステン → 太陽光 → 曇り	ブルー → アンバー	
ISO感度	低感度 → 高感度	コントラスト： → 硬くなる ノイズ： → 乗ってくる	
露出補正	マイナス補正 ↔ プラス補正	暗くなる ↔ 明るくなる	
カメラ or 現像	コントラスト	効果	check memo
コントラスト	低い ↔ 高い	柔らかな調子 ↔ 硬い調子	
彩度	低い ↔ 高い	シックな雰囲気(0はモノクロ) ↔ 鮮やかに	
カラーバランス	レッド ↔ シアン / グリーン ↔ マゼンタ / ブルー ↔ イエロー	正しい色に補正したり、独自の色味が作れる	

写真を読み解く・check sheet 2：状況分析

光	様子	効果	check memo
高さ	低い ↔ 高い	影が長い ↔ 影が短い	
方向	逆光 → 斜光 → 順光 (撮影したい被写体に対して)	影: なし → あり → なし 色: 浅い → 濃い → 濃い コントラスト: 低い → 高い → 高い	
硬さ	光の硬さを影で判断 影がない → 影が薄い → 影が濃い	色: 浅い → 浅い → 濃い コントラスト: 低い → 標準 → 高い	
色味	レッド・シアン・グリーン・マゼンダ・ブルー・イエロー	色で雰囲気を変える	
人工光	メイン、補助	光で雰囲気を強調、光が足りない部分を補う	
周辺	様子	効果	check memo
周りの状況: 自然	開けている(高原・海)・囲まれている(森)	開けている: コントラストが高い、影が濃い 囲まれている: コントラストが低い、影が薄いかない	
周りの状況: 都市	建物が低い・建物に囲まれている	建物が低い: コントラストが高い、影が濃い 建物が高い: コントラストが低い、影が薄いかない、ビルの反射で光が多方向から来る	
周りの状況: 室内	広い・狭い 壁・天井・床の素材の違い 窓が小さい ↔ 大きい・低い ↔ 高い	この3つの要素が光のコントラストに影響 例えば広くて、素材が白くて、窓が大きいと コントラストは低く、逆の場合は高くなる	
どこの国か	風景、建物、小物等、国によって異なる	その国の特徴を入れることで、 国をイメージさせる	
時系列	想定	効果	check memo
1日の流れ	何時頃を想定しているか	朝・昼・夕・夜の雰囲気を感させることで物語を	
1年の流れ	何月頃を想定しているか	春夏秋冬の雰囲気を感させることで物語を	